

1992-93年度国際ロータリーのテーマ



まことの幸福は人助けから



Real Happiness is Helping Others

- 国際ロータリー会長 クリフ・ダクターマン ●第2560地区ガバナー 栗山 清
- 会長——内山辰策 ●副会長——上木六治
- 幹事——榎本 勝 ●副幹事——五十嵐総一
- SAA——渋谷正一 ●副SAA——松谷昊吉 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477
- FAX 32-7095

出席者会員数

会員 76名中 55名

先々週出席率

94.52% (前年同期 92.86%)

今日のお花

ダリヤ、オレンジジュウム

ヴィジター

三条南より 鈴木武さん、吉井正孝さん、西野治邦さん
三条北より 内藤修さん、長谷川恵慈さん
燕より 小林栄三さん

ゲスト

米山奨学生、長岡技術科学大学マラカド・ガレルクシさん

先週のメイクアップ

- 10/26 三条南へ 山本福七さん、渡辺喜彦さん、渡辺宏策さん、吉沢富雄さん、榎本勝さん、木許紘一さん、石橋育於さん
- 10/27 三条北へ 細井増雄さん、野村竹三郎さん、池田千秋さん、五十嵐晋三さん、渡辺宏策さん、堀川政雄さん、広岡豊作さん、五十嵐昭一さん、渡辺惣吉さん

会長挨拶 内山(辰)会長

今日は、長岡技術科学大学のマラカド・ガレル・クンさんをお迎え致しております。フィリピンの方であります。

皆様方、ご存知のことと思いますが伊藤廣一さんをご病気で済生会大野畑病院に入院されておりましたが、今は新潟大学病院に入院されております。伊藤さんより結婚記念日の花束が届いたということでお礼のお手紙が届いております、今日の例会まで開封しないようにとのことでしたのでこれより開封致します。

お手紙を読まさせていただきます。

『新潟大学医学部付属病院の歩道並木通りの街路樹が漸く秋の紅葉、朝陽に夕陽に映えて美しい季節となりました。本日、結婚記念日のお花が届きました。入院中の今の私では、とても祝う気にはなれないそんな時にロータリーの皆様からの美しいお祝いのお花で家内と一緒に枕元には花瓶を、手元には番茶とささやかですが気分だけは盛大に結婚記念37年目のお祝いをやらせていただきました。入院中のベッドの中での結婚祝なんて滅多にやりたくても出来ない二人だけのロマンチックなお祝いでした。ロータリーの皆様ありがとう、日増しに寒くなります、皆様お風邪を引かぬようにお気を付けて下さい。』

追伸 『28日の例会の折り、私と家内の37年の結婚祝いを祝ってニコニコBOXに金2,000円也を古澤富雄委員長にお渡し下さい。右宜しく皆様にお伝え下さい。』
と、かような手紙が届いております。大変に結婚祝いの花束に感激して折られる様子です。ロータリーの心というものがこの様な時に大変威力を発揮する様です。

幹事報告 榎本幹事

◎日本支局よりロータリー適用相場変更のお知らせがとどいております。

11月1日より1ドル120円(現行130円)

◎三条市ふるさと運動推進協議会より第10回ふるさと絵画コンクール記念イベント「ふるさと演奏会」ご協賛のお願いがとどいております。

とき 11月28日(土)PM2時~PM4時

ところ 三条市中央公民館大ホール

※今回は10回を迎えるにあたり記念イベントとして三条ローターアクトクラブと共催です。

米山月間 山本福七会員

米山月間には、必ず委員長は話をする事に成っておりますので話をさせていただきます。「米山月間にあたって」という事でガバナー月信4に地区米山奨学委員長でパストガバナーの渡辺徹一先生が要領よくまとめて書いてありますので、あとで参考迄に御覧頂きたいと思っております。

◎米山奨学事業

財団法人ロータリー米山記念奨学会(以下略称米山奨学会)は、日本全国のロータリークラブの支持のもとに、主としてロータリークラブの所在する国または地域から来日している私費留学生に、奨学金を授与し、世話をする国際奨学事業財団で、その目的に賛同し、これを援助しようとされる方から寄付を受けて事業遂行のための資金に充てています。

●寄付金の種類

寄付金には、普通寄付金と特別寄付金の二種類があります。

(1) 普通寄付金

全ロータリークラブ会員から、クラブごとに、会員一人につき年額1,000円以上を定額で寄付されます。

各クラブが任意に増額(増額単位は1口につき年額500円)しますので、会員1人当りの普通寄付額はクラブにより異なります。

普通寄付は年額の半額を、それぞれ7月1日、1月1日現在の会員数に応じて、半期ごとに米山奨学会へ送金されます。

(2) 特別寄付金

個人、クラブまたは法人として、普通寄付以外に寄付されるもので、この特別寄付に対しては、別項の「免税措置について」に記載の通り税法上の優遇措置を受ける認可を与えられております。規定により特別寄付金年額3万円以上の方には、免税を受けるために必要な証明書類を、米山奨学会から自動的に2月初旬に送付します。

なお、特別寄付は、ロータリアン、ロータリークラブ以外の個人、法人、団体からもお受けします。

●表彰制度

個人、クラブまたは法人の特別寄付に対して、次のような表彰制度があります。

(1) 「米山ファンドフェロー」

個人の特別寄付の合計額が15万円に達した時、または一度に15万円もしくは30万円未満の特別寄付をされた時、米山ファンドフェローとして表彰し、メダルと略章が贈られます。

米山ファンドフェローの表彰は一回だけです。

従来の米山協力者は自動的に米山ファンドフェローとなり、以後米山協力者の名称は廃止されます。

(2) 「米山功労者」

個人の特別寄付の合計額が30万円に達した時、または一度に30万円もしくはそれ以上の特別寄付をされた時、米山功労者としてメダルと略章が贈られ地区大会で表彰されます。

米山ファンドフェローの寄付が30万円に達したときも、同様に米山功労者となります。

米山功労者の表彰およびメダルと略章の贈呈は30万円ごとに何回でも行われます。

(3) 「準米山功労者」

個人(既に米山ファンドフェローとなられた方を含む)として第一回分の寄付金3万円

以上を納め、あと30万円に達するまで引き続き寄付する意志表示をされた方は、準米山功
労者として登録されます。

準米山功労者の寄付金が15万円に達したとき、自動的に米山ファンドフェローとして表
彰され、メダルと略章が贈られます。

(4)「米山功労クラブ」

クラブの特別寄付金の合計額が100万円に達した時、米山功労クラブとしてメダルと楯
が贈られ、地区大会で表彰されます。

クラブの特別寄付金額には、個人の特別寄付も集計されます。

表彰およびメダルと楯の贈呈は100万円ごとに何回でも行われます。

「米山功労者、米山功労クラブ」のメダルは従来銅メダル1種類でありましたが、1991
～92年度からは第1回目銅メダル、第2回目銀メダル、第3回目金メダル、第4回目以上
梅花紋メダルとなります。

(5)「米山功労法人」

法人が所定の申込書により35万円の特別寄付をされた時、米山功労法人として表彰状が
贈られます。この場合、個人としての米山功労者の表彰はありません。

(6)「米山特別功労法人」

法人からの特別寄付合計額が105万円に達したとき、または1度に100万円もしくはそれ
以上の特別寄付をされたときに、米山特別功労法人として表彰され、地区大会で表彰の楯
が贈られます。表彰の楯の贈呈は、1度に100万円または35万円を3回で105万円に達した
とき、何回でも行われます。

(7)「準米山功労法人」

法人として第1回分の寄付金5万円を納め、あと35万円に達するまで5万円単位で引き
続き寄付をする意思表示をされた法人は、準米山功労法人として登録されます。

(8)「1千万、2千万、3千万達成クラブ」

普通寄付と特別寄付の合計額が、1,000万円、2,000万円または3,000万円に達したとき
は、それぞれ「1,000万円達成クラブ」「2,000万円達成クラブ」または「3,000万円達成ク
ラブ」として、表彰状が贈られます。

以後、1,000万円増額達成ごとに同様に表彰されます。

米山ファンドフェロー、米山功労者、米山功労法人、米山特別功労法人の寄付を全額1
度に送金されるとき、及び準米山功労者、準米山功労法人の申し込みをされるときは、添
付の申込書をご使用願います。

●寄付金の送付先

太陽神戸三井銀行京橋支店（普）0920373

（財）ロータリー米山記念奨学会

〒105 東京都港区芝公園2-6-3

abc会館内 TEL: (03) 3434-8681 FAX: (03) 3578-8281

●送金方法

ロータリークラブを通じて、当会所定の振込用紙を使用してお送金下さい。

●免税措置について

米山奨学会は、昭和53年10月2日付をもって法人税法および所得税法に掲げる特定公益
増進法人に該当する旨の認可を与えられましたので、次のように取り扱われます。

(1) 法人からの寄付金

法人税法において特定公益増進法人に対する寄付金として取り扱われ、法人の一般の寄
付金の損金算入限度額と同額までの金額を、別枠で損金に算入できます。ただし、当該事
業年度の確定申告書の提出にあたり、法人税申告書別表14「寄付金の損金算入に関する明
細書」に所要事項を記載、次の書類を添付しなければなりません。

イ) その寄付金が米山奨学会（特定公益増進法人）の主たる目的である業務に関連する
寄付金である旨を米山奨学会が証明した書類（領収書）

ロ) 米山奨学会が特定公益増進法人に該当する旨を主務官庁が証明した書類の写しとし
て、米山奨学会から送付した書類（認可証の写し）

(2) 個人からの寄付金

個人の寄付金は特定寄付金として、所得税の確定申告書二面の「寄付金控除」欄に記載
されている算式によって計算した金額が所得から差し引かれます。ただし、寄付金の控除
の適用を受けようとする旨を、その年度の確定申告書に記載し、法人の場合に準ずる書類
（前項イ、ロ）を添付するか、申告書提出の際に提示しなければなりません。

11月のお祝い

◎会員誕生祝	5日 内山昭二さん	7日 川口浩一さん	11日 野村竹三郎さん
	22日 阿部武美さん	26日 熊倉昌平さん	29日 渋谷健一さん
◎婦人誕生祝	9日 小林昭子さん（正義）	10日 外山セツさん（雅也）	
	11日 内山 洋さん（裕一）	11日 川口淑子さん（浩一）	
	12日 渋谷トヨさん（健一）	16日 高橋汎子さん（一夫）	
	17日 中村範子さん（和彦）	22日 大谷スミさん（幸平）	
	23日 平原キミイさん（二三郎）	25日 細井千代子（増雄）	
◎結婚記念祝	2日 外山雅也さん	2日 高森昭光さん	3日 鈴木宗資さん
	3日 山本恒男さん	5日 清水良一さん	12日 五十嵐力さん
	14日 五十嵐総一さん	14日 小林九満太さん	15日 上木六治さん
	15日 池田俊一さん	17日 金子左武郎さん	18日 外山一郎さん
	21日 小林正義さん	23日 滝沢富雄さん	29日 加藤征男さん
◎100%出席賞	26年 広岡豊作さん	13年 上木六治さん	11年 外山一郎さん
	4年 近藤雄介さん		

- 内山(辰)さん 今月は米山月間です。今日は米山奨学生のマラカド、カレルクシ君より卓話を頂きます。マラカド、カレルクシ君有難う。
- 杉野さん 心なごむ話でありませぬ知事選の投票率県内112市町村の三条市が最下位でしたがBOXに入れます。
- 鈴木さん 県知事選が終了したので。
- 高橋さん 三週間の海外旅行を楽しんで来ました。
- 斎藤(弘)さん 平山知事の誕生を心より喜び申し上げます。
- 五十嵐(力)さん この度アメリカ、カナダへ行って来ました。どの国も朝が早いので、驚いております。朝6時～7時頃ラッシュです。
- 伊藤さん 二人病室でささやかな37年目の結婚式を祝って送られて来た花を枕元に番茶で乾杯
- 松谷さん NTTユーザー会GPに参加いたしました。大変お世話になりました。
- 佐藤さん 事務局よりロータリーソング集を頂きました。有難度う御座居ました。五クラブ有志ゴルフ会キャンセルして申し訳ありません。
- 滝沢さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。
- 細井さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。久しぶりのHクラブ出席です。
- 渡辺(喜)さん 今日健康で例会に出席することができました。ロータリーの社会奉仕活動に協力してボックスへ。誠に申し訳ありませんが、早退させていただきます。

卓話 マラカド・ガレル・クシさん(フィリピン)

始めましてマラカド・ガレル・クシでございます。私を呼ぶ時にはマラカドだけで宜しいですのでお願い致します。

簡単に自己紹介を致します。私は日本に來まして6年になろうとしております。今日は、外国人が話をするといい事で皆様は英語で話をするのかな～とご心配もあるようですが大丈夫ご心配無く、6年も経ちますと何とか日本語は喋れます。

私は言葉に非常に興味がありまして、普通の専門の勉強より最初は日本語を中心にして勉強をしておりました。と言いますのは、日本語が分からないと授業とか先生の



話が全然分からないので、先ず日本語が分からなければ話にならないと思いましたが、試験も無理ですし、レポートを書くにもやはり日本語が必要ですのでその勉強から始めましたし努力も致しました。

日本に來る前はフィリピンの大学の2年生でした。当時フィリピンの日本大使館で日本政府の奨学金制度の募集があると叔母さんに聞かされて受けてみましたら受かってしまいました。私は、5人家族、3人兄弟の一番上です。3人ですとフィリピンでは少ない方です。平均が4～5人です。

現在何をやっているかと言いますとコンピューターに人間的な能力を持たせる研究をしていますが、やはり人間の能力の素晴らしさを意識しました。人間の能力をいかにコンピューターに持たせるかという事に対し現在は結構悩んでおります。

日本に來まして6年ですがいろいろな経験が有りました。今日もこうして美味しいお寿司を戴いたんですが、こちらへ來まして6カ月くらいに日本人の友人の家に招いて頂いて刺身を出されました。最初は生のままでは食べないだろうな～と思いましたがやはり生のままで食べるみたいです。でもそれはいいとしてワサビですがそのワサビは結構綺麗な色です。緑色をしていたので甘いのかな～と思ったんです。で、生はあまり食べないから甘い方を一口だけ食べようかな～と思って口に入れました、その瞬間、日本に來てまずかったと思えました。食べた鼻にきて涙が出ました。すると友達の家の方がどうしたのと言いました。つい嘘をついて「家族の事を思って寂しくなった」と言いました。ワサビはこれから食べないようと思えました。

今度は寿司を食べに行こうと招かれました。見ましたらご飯の上に生がのっていましたが、今度は大丈夫だろうと思ひまして一口食べたらまたワサビが入っていました。グッとこらえました。今少しで涙が出るところでした。何とか出さずに済みました。

日本に來て第一印象は、日本人は外国人に余り話をしてくれない(声を掛けてくれない)と思ひました。しかしよく考えてみれば言葉の問題と何を話して良いのか悩んでいると思ひます。でも私達外国人にとっては食事を御馳走して頂くのも嬉しいですが普通の日本人の日常生活の中に招待されるのが何よりも嬉しい事ですし日本の方といろいろ話が出来ますと日本を何よりも理解出来ますし語学の能力も高めることが出来ます。

日本は何でも高い。物価とか食品・家賃などほとんどが高い、長い休みになると日本に居るより国へ帰った方が安く済みます。日本は何でも便利です。どこへ行っても何でも揃っています。フィリピンのマニラでさえも手に入らない物が日本には結構あります。又、日本には見所が沢山あります。技術的には進んでいる国なのですが昔の建物等がそのままになっているのに大変興味が有ります。

日本に來て良かったと思うのは何よりも勉強が出来たと言う事です。フィリピンに居てもどこにいても勉強をする事は同じですが、日本の大学ですと他よりも機械等が沢山有ります、ですから非常にやりがいがあります。それに日本に來て日本人と日本の事がよく理解出来て嬉しいです。又他の国の人たちと触れ合う事も出来て良かったと思ひますし、日本に來て始

めて自分の国の素晴らしさも改めて意識しました。それと皆からフィリピンの事を聞かれると、自分の国の事を余り知っていない事に恥ずかしい思いもしました。それ以来自分の国の事も勉強が出来たこともよかったと思います。

私達留学生の事を少し紹介致します。

私はロータリーの米山奨学金を頂いて勉強をしているのですが、何も奨学金を貰わずにガンバッテいる留学生が非常に多くいます。特に東京に居る留学生は物価高で大変苦勞をしていると思います。ニュースにも出る事がありますが殆ど勉強せずにアルバイトや仕事の時間が多く占める人が多くいます。又そうでないと生活が出来ないのが実情です。時給800円～900円くらいです。毎日4～5時間で週4～5日やらないと本当に食べて行けないのです。アルバイトをしないで勉強をするのが非常に難しい環境です。でもアルバイトを通して勉強がある程度出来るのでお金ばかりともいえません。学校で学べない様な社会的な事を身に着ける事が出来ますが、私は余り良い事とは思っていません。留学生はやはり学校で勉強すべきでアルバイトは薦めたくありません。

私は、ロータリーの米山奨学金を貰っているのでいろいろな研究に打ち込めます。もしこの奨学金を貰っていないとアルバイトもしなければいけないし良い研究は出来ません。頂いていればこそ充実した留学生活を送れます。来週シンガポールに行って国際学会に発表をする予定が有ります。この国際学会に出席出来るのも奨学金を頂いているお陰です。

最近では周りが不景気だと聞いておりますが、どうかこの米山奨学金制度を大いに応援して続けて頂きますようお願い致します。

最後に少しだけ環境の事について皆様にお願いが有ります。

日本は生活が豊かな割には、資源（自然）が余り無く資源の殆どを輸入しております。フィリピンは自然が豊かです、が自然・資源が豊でも永遠に続かないものです。ですから、皆様はとっくにご存知ですが最近環境問題が話題になっていますので余り無駄使いをなさらないで資源を考えて生活をして頂きたいな一と思っております。

私は最近、古い車ですが買いました。中古車屋さんに行きますと殆ど売れない車が沢山あるのですが、「なぜっ」と聞きましたら「古いから売れない」と言うのです。それで「使えないのですか」と聞いたら「いえ、使えますよ」と答えられた。私は「使える物なのになぜ捨てるのですか」と言いましたら、「新しい車の方が良いでしょう」と言われました。お金持ちなんだな一と思いましたが、でもそれは車は使わなければ只の鉄の固まりですし、その処分にもお金がかかる訳ですし結局無駄になります。フィリピンは日本みたいに経済的に豊ではないので車は完全に駄目になる迄、動かなくなる迄、修理が利かなくなる迄使います。

皆様、次に車を買う時はその事を少しだけ考えて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

11月4日例会 卓話「エイズについて」日戸平太会員

11月11日例会 (合同例会振替の為休会) 11月9日 合同例会 於VIP

11月18日例会 卓話
